



第4回新人助産師研修



平成30年11月24日(土)、第4回新人助産師研修・公開講座が開催されました。山口大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター診療助教 松隈知恵先生に「新生児のフィジカルアセスメント」について講義をして頂きました。新人助産師、公開講座参加者、合わせて44名の参加がありました。



新生児フィジカルアセスメントの特殊性、

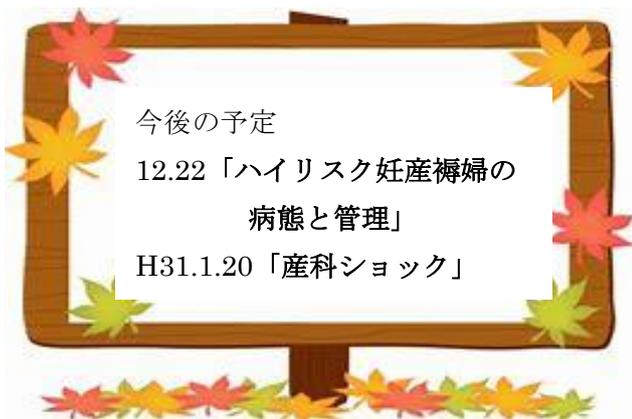
- ・言葉で自分の異常を伝えることが出来ない(新生児に対し常に関心を払い変化を見逃さない)
- ・赤ちゃんのそばにいて視る聴く触る
- ・母体情報(母体合併症、妊娠分娩経過)がカギ
- ・出生後に起こりやすい疾患や病態を理解するという事について再認識し、理解を深めることが出来ました。

看護師・助産師にとっては、健常所見である「サーモンパッチ」「ウンナ母斑」「新生児中毒紅斑」「眼球結膜出血」等もお母さんやご家族にとっては、気になる所見であり、不安の解消に繋がる様に適切な説明をすることの必要性を再認識しました。自分で症状を訴えることが出来ない新生児の異常を早期に発見するために、これからも自己研鑽していかなければならないと痛感しました。



また、NICUの紹介動画はとても感動的でした。施設によっては、経験出来ない治療の実態を動画で見ることが出来、大変勉強になりました。

参加者からも「新生児について深く知ることが出来た」「異常時の原因やその後のケアについて具体的に学べた」「大変分かりやすかった」という意見があり、大変有意義な研修でした。



今後も、助産師の人材育成を図る為、助産師の助産実践能力の向上を図る為、様々な研修を計画しています。皆様の参加をお待ちしています。

山口県看護協会 助産師職能委員会

